

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	高知県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	土佐山田町立山田小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	2	2	2	2	1	14	27
児童数	94	57	80	61	68	80	1	441	

研究の概要

1. 研究主題

主 題「学ぶ楽しさを育てる授業の創造」  
基礎・基本の学力の定着をめざして

主題 設定の主旨

児童の興味・関心を持った課題を設定し、個に応じた指導方法・指導体制を工夫改善していけば、どの児童も学ぶ楽しさを持って意欲的に取り組むことができるであろう。分かる喜び、考えるおもしろさを味わわせながら、基礎・基本の学力の定着をめざした指導方法を追求していく。

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1・2年生 算数 TT学習、国語

3・4年生 算数・国語 TT学習と少人数学習(習熟度別学習)の併用

5・6年生 算数・国語 TT学習と少人数学習(習熟度別学習)の併用

算数・国語科を中心とした理由

- ・個人差が大きく、学習内容が充分理解できていない児童が多くいる教科であること
- ・学力診断テスト結果からも、つまずきのある児童が、学年が進むにつれて固定化している傾向があること
- ・校区の中学校との連絡会の中で、読み・書き・計算的な学力の定着はどの児童にも見られるが、思考力や文章をまとめる力が定着していないとの提起があったこと

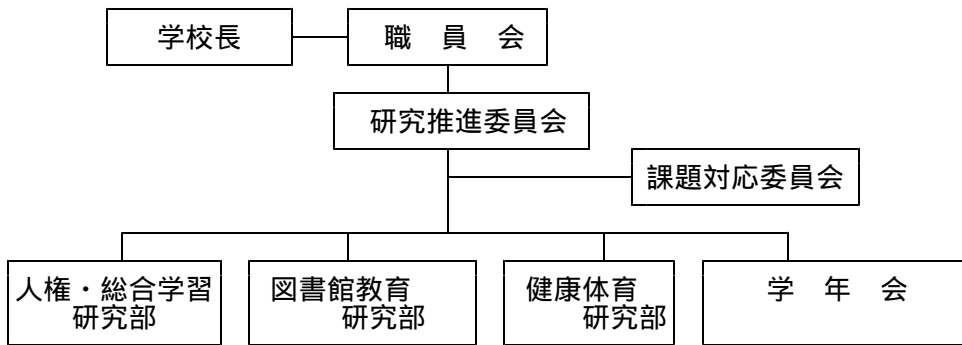
研究内容

- ・算数・国語科を中心とした少人数授業(習熟度別学習)・TT等の指導法の工夫改善
- ・学びを深め、授業評価にもつなげるノート指導
- ・意欲を高め、理解を深めるための算数的活動のあり方
- ・個に応じた自主教材の開発・研究
- ・教育課題のある児童への支援のあり方
- ・家庭と連携した学力支援体制
- ・学び合い、共に伸びようとする仲間づくり(自尊感情の育成)

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「学ぶ楽しさを育てる授業の創造」 基礎・基本の学力の定着をめざして</p> <p>研究の見通し(仮説) 児童の興味・関心を持った課題を設定し、個に応じた指導方法・指導体制を工夫改善していけば、どの児童も学ぶ楽しさを持って意欲的に取り組むことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・少人数授業・T T等の指導法の工夫改善(算数科)</li><li>・授業改善につながる授業評価表の効果的な活用法</li><li>・定着と意欲化を図る確かめ学習の充実(学習の補充)</li><li>・学び合い、共に伸びようとする仲間づくり(自尊感情の育成)</li></ul>
平成15年度	<p>テーマ 「学ぶ楽しさを育てる授業の創造」 基礎・基本の学力の定着をめざして</p> <p>研究の見通し 児童の意欲・関心を引き出す課題を設定し、個に応じた体験的な活動や問題解決的な指導方法・指導体制をさらに工夫改善していけば、どの児童も学ぶ楽しさを持って意欲的に取り組み、基礎・基本の学力の定着ができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・算数・国語科を中心とした少人数授業・T T等の指導体制の工夫改善</li><li>・自力解決する力を高める学習指導やノート指導のあり方</li><li>・意欲を高め、理解を深めるための算数的活動のあり方</li><li>・個に応じた自主教材の開発・研究(補充的・発展的教材)</li><li>・家庭と連携した自学自習のあり方</li><li>・教育課題のある児童への支援のあり方</li><li>・授業改善につながる授業評価システムの確立</li><li>・学び合い、共に伸びようとする仲間づくり(自尊感情の育成)</li></ul>
平成16年度	<p>テーマ 「学ぶ楽しさを育てる授業の創造」 基礎・基本の学力の定着をめざして</p> <p>研究の見通し 児童の興味・関心を引き出す課題を設定し、自らが課題をみつけ自力解決できる個に応じた指導方法・指導体制をさらに工夫改善していけば、どの児童も学ぶ楽しさを持って意欲的に取り組み、基礎・基本の学力が定着し、個々の目指す目標に向かってチャレンジできる児童が育つであろう。そのような指導方法を追求していく。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童が主体的に自らの課題に向かって自力解決する単元構成や学習課程の工夫改善</li><li>・考える活動を高める学習指導やノート指導のあり方</li><li>・意欲を高め、課題解決に向けた算数的活動のあり方</li><li>・教育課題のある児童への支援のあり方</li><li>・家庭と連携した自学自習のあり方</li><li>・学びを深める授業評価システムの確立</li><li>・学び合い、共に伸びようとする仲間づくり(自尊感情の育成)</li></ul>

(3) 研究推進体制



研究内容の企画・立案は研究推進委員会で提案している。また、各部や学年からの意見を研究推進委員会に反映させている。

課題対応委員会では、生活課題・学力課題のある児童理解と支援のあり方について研究しながら、全教職員の共通理解のもと指導体制や指導方法を工夫改善している。

平成15年度の研究の成果及び今後の課題

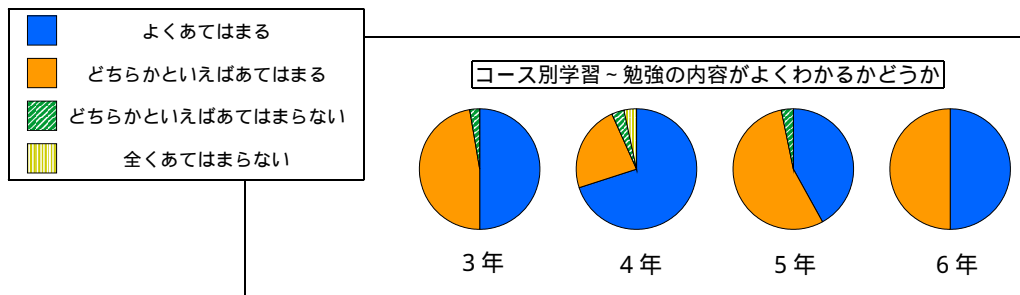
1. 研究の成果

年間を通した朝の全校読書が定着し、学校全体が落ち着いてきた。  
 少人数授業、TT等の指導法の工夫改善により、柔軟な指導体制が組めるようになり、以前よりもきめ細やかな学習指導が展開されるようになってきた。  
 学力診断テストの結果が伸びてきた。  
 児童の学習感想には、コースや課題を自分で選んで学習するのはおもしろい、分かりやすかったなどの感想が多く見られ違和感なく受け入れられていることがわかる。  
 家庭と連携した学力支援体制「ノーテレビデー」(PTAの実施)に大きな反響がよせられた。

【学習に関する意識調査】

コースに分かれて少ない人数でおこなう学習について 学年のひと組を抽出実施  
 勉強の内容がよくわかるかどうかの回答 (9月 3年～6年 126名実施)

	よくあてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	全くあてはまらない
3年(38名)	19	18	1	0
4年(30名)	21	7	1	1
5年(31名)	13	17	1	0
6年(26名)	13	13	0	0



## 2. 今後の課題

- ・国語科における個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
- ・思考力を高める算数科の授業、ノート指導のあり方
- ・意欲を高め、理解を深めるための算数的活動のあり方
- ・生活課題・学習課題のある児童への支援のあり方
- ・学習の積み重ねが図れる家庭学習のあり方
- ・家庭や校区の中学校、保育所・幼稚園と連携した学力支援策のあり方
- ・研究内容を絞り込み学年の系統や積み上げが見えるようにしていくこと

### 学力等把握のための学校としての取組

- ・学力診断テストの実施と分析（年一回）
- ・授業改善につながる「具体的な評価規準」の作成
- ・100マス計算個人カルテ、一年間の読書記録（毎月、クラス、個人）
- ・単元ごとのテストの実施
- ・基本的な生活習慣、意識づけのための「生活がんばりカード」（每学期1回）
- ・確かめ学習の実施（毎週1回、夏季休業中3回）

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・高知県教育センター「学習指導法講座」にて「算数科における個に応じたコース別選択学習について」実践発表をした。（5月30日）
- ・「学力向上フロンティア指定校」としての研究発表会を開催し、本校の二年目の取り組みを公開した。（6月27日）
- ・高知放送のラジオ番組「みんなで、わくわく、インタビュー！わたしたちが！主人公！」で「コース別学習、課題別学習、算数マン、算数まつり」などの自校の学習の様子を児童が紹介した。（11月13日）
- ・参観日や土佐山田町一斉の学校開放日には、公開授業において取り組みを紹介し、その普及に努めている。
- ・町内や県東部の研究会等において自校の取り組みを紹介し、情報交換しながらその普及に努めている。
- ・平成16年度にも、研究発表会を行う計画である。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |  |   |  |                                   |
|----------------------|--|---|--|-----------------------------------|
| 【新規校・継続校】            | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校  | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校                      |  |                                   |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 6学級以下<br><input checked="" type="checkbox"/> 13～18学級<br><input type="checkbox"/> 25学級以上 | <input type="checkbox"/> 7～12学級<br><input type="checkbox"/> 19～24学級 |  |                                   |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導<br>一部教科担任制   | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導<br>その他                 |  |                                   |
| 【研究教科】               | <input checked="" type="checkbox"/> 国語<br>生活<br>体育   | <input type="checkbox"/> 社会<br>音楽<br>その他                            | <input checked="" type="checkbox"/> 算数<br>図画工作 | <input type="checkbox"/> 理科<br>家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有  | <input type="checkbox"/> 無  |  |                                   |